

道標ない旅 考えて行動できる人

～自立・創造・しなやかな心～



令和5年度 第8号
2023.6.15発行
葉山町立南郷中学校
校長 益田 孝彦
Tel. 046-875-9494
Fax. 046-876-0684

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>

◆◆ 6 / 13 に第2回合同学校運営協議会（コミスク）が長柄小で開催されました。 ◆◆

この日は、今後コミスクをめざす逗子市の小学校から校長先生・学校評議員さんの2名の見学を受けての開催となりました。

南郷中の近況として、6月12日生徒から落石情報のあったシンデレラ階段についての説明を行いました。そして、シンデレラ階段の通行が不可となった場合に備え、4年前通学路化の準備を進めていた、仙光院の横を通り、奥に進んだ日の出園脇に得る階段についての状況について報告しました（後述あり）。このほか、学校に点在する植木鉢で創ったコロボックルの維持に、地域の力を借りる予定でいることや、町長が参加された朝の集い全校集会や、PTA 主催高校説明会等について紹介しました。

長柄小学校からは、長柄地区における大雨に対する登下校判断の困難さをどう克服すべきかという話題や、PTA 学年委員さんが主催する「親子レク」の検討、リラックスルーム（本校で言うリソースルーム）の運営についての報告、小学校で今年度から教科担任制を全校で取り組んでいる意義と、課題点の克服について等、重要な取り組みと課題について投げかけがありました。

「親子レク」と銘打つと親御さんが参加できていない子どもの心が傷付く場合があることを考慮して、企画自体を、学年やPTA 全体で取り組む企画で代替していくことについて意見が寄せられたり、各クラスで使っていた予算を集約・集中すれば、より役に立つ形で還元ができたりする可能性があるのでは、といった意見交換がなされました。リラックスルームは、学校側のニーズやペースで整えていくべきであろうといった指摘がありました。教科担任制を学校全体で取り入れたことについては、3回繰り返す授業を通して授業の質的向上が見られることや、学年職員がクラスの壁を越えて児童について情報交換する様子が非常に多くなり、児童を全体で見守るムードが生まれてきていることが報告されました。特別教室等施設の配当が複雑化する課題を克服して、取り組みを進めていきたいとのことでした。いずれの内容も継続的な協議が必要であると確認することができました。

HP 作成委員会の報告場面では、今回マレーシアに行っている委員が、リモートで参加しました。海外とこんなになめらかに会議が進められるのだと驚きましたが、コミスクHPでお知らせをもっと配信していく中で、「地域の話」「学校の話」「防災情報」といったカテゴリーで分けていくべき状況になったら、HPを作り替えていくことや、「お問い合わせ」には、会長と学校が協議してお答えしていくことなどが報告されました。ワールドワイドに会議が開けたことに驚きだけでなく、自信を深めた気がしました。



長柄小で行われてきた放課後学習サポート教室は、「学習支援メインではなく、放課後の子どもの居場所として存続できないか」といった視点で課題検討を続けることになりました。運用して行くには、固定的な人員配置が不可欠なことや、逗子葉山高校との連携模索などが検討課題となります。逗子葉山高校 校長も担当官と視察に来て下さることになりました。



この日は盛りだくさんで、地域学校協働活動推進委員からの進捗状況や、長柄小学校総合的な学習の時間の取り組み報告として、6年 教諭からは「仙光院」の協力を得ていることや、5年 教諭からは「米作り」を通して、指導して下さる さんの苦労や信念についても紹介がありました。教育総務課長からは施設を考える上で、現在「学び」が、どのようなニーズや変化を必要としているか基調提案がありました。今後は、施設に関してコミスクの場で夢を語り合うことが予定されています。

◆◆ 通学路の状況について ◆◆

6月12日(月)、生徒情報で、「シンデレラ階段に比較的大きな落石があると」伝えられました。早速見に行きますと、シンデレラ階段下側の土がけに囲まれた狭い所(隘路)で、写真の落石を確認しました。今まで見た落石では最大級のものが、側面から崩れ落ちてきたことを確認できました。シンデレラ階段は不審者出沒と、落石の危険から、5年以上前から生徒の通行を控えるよう町からの要請がある中、使用し続けてきた経緯があります。念のため、階段全部を点検しましたが、落石の状況の悪化が確認される状況でありました。



私が校長を務めていた4年前、葉桜自治会さんと仙光院さんと協議の結果、仙光院奥～日の出園横に出る階段を、数百万円かけて通学路にする予算を申請し、翌年に町の予算が付き階段が整備されましたが、コロナ初年度の混乱で、南郷中学校の通学路化は図られなかったようでした。高低差を一気に上げる階段なので、決して楽な階段ではありませんが、当時の教育長も一緒に歩いていただき、通学路化を進めた階段です。

現在、整備後、丸3年以上放置されたため、工事当時に行った階段両脇の植栽のカットが、改めて必要な状況でしたが、写真に示すとおり、照明のあるしっかりとした階段です。この階段を通学路化するかどうか、担当の先生方(生活部)で検討し、年内に方向性を決めていければと思っています。



◆◆ サッカーの応援に行かせていただきました。 ◆◆

6月10日(土)、坂本中で行われたサッカーの試合、枠に当たったシュート3本と、優勢に試合を進めるも引き分けに終わり、今週行う南郷中での試合が3年生にとって重要になります。頑張ってもらいたいと心から願っています。

